

第 13 回 逗子の未来協議会 グループワークまとめ
 <条例の実効性を確保し、高めるための具体的な内容、仕組み等>

班	条例の実効性を確保し、高めるための着眼点			
	①条例の効果を測ること	②市民への周知、浸透	③見直しが必要かどうかの判断	④条例改正への市民の関わり
1 班	<ul style="list-style-type: none"> ・測ることが難しい ・数字?量? <p>↓</p> <p>効果の実感 (「だからこうする、こうしたい」に近づけるか)</p> <p>↑</p> <p>満足感</p> <p>↳ 評価の基準に?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大人だけでなく子どもにも周知できる工夫を ・焼津市「まちづくり市民集会」は良い <p>↑ ↓</p> <p>議員入っている (条例第 17 条)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の多様な参加必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点あれば(見えたら)、すぐに見直す 	<ul style="list-style-type: none"> ・制定と同様に WS 等を行う ・市民、職員参加?
2 班	<ul style="list-style-type: none"> ・全国で例あるが、成果があったかどうか分からない ・実行性がないと意味ない <p>↓</p> <p>実効性が分からないことがある 例:空き家対策つくるなら数字を入れないと意味ない。極力数値化しないと意味がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセスが良くなる。アウトプット数値化できれば → 全部は無理? ・役場の人自信もつ ・市外の利用者もいる(駅とか) ・行為、裁判、規範 → すぐに効果出るものでない。土台作ってじわじわ効いてくるもの ・7~8割はもやもや → それでも具現化したのが事例 → 役場の人のみ× 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ずし、読む人とそうでない人いる ・条例分かり易く、法律文章でなく ・協議会レポートを広報にコーナー作って入れて。民間参考にして。今は、詳しい人用、簡潔に、大きく、短い文章 ・要約筆記流して(会議でも)、聞こえづらい人もいる ・ネット慣れない人も多い。用がないと見ない(市の HP は) ・相談した時にしっかり説明するようにして。分からない人もいる ・町内会単位で見られるように ・掲示板に大きくのせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・やりながら考えた方がいい 	<ul style="list-style-type: none"> ・やりながら考えた方がいい

班	条例の実効性を確保し、高めるための着眼点			
	①条例の効果を図ること	②市民への周知、浸透	③見直しが必要かどうかの判断	④条例改正への市民の関わり
3班	<p>技術的な難しさ 測るものさし—— 第三者の審議会 質問や意見が 何件？ 一般市民が理解 効果が上がっていないときに どうする？</p>	<p>エネルギー・予算 市民がまず知っていること大前提 ・小中学校の休日参観で出張授業 ↑行政の 子ども・保護者への周知 地域の教育力 → 浸透 学級委員会 ・難しすぎることで理解の妨げ 簡単な説明 簡単なアンケート 質問に答える窓口 → HP、SNS の活用</p>	<p>市民の意見をキャッチする機能 をこの条例を策定する際に盛り 込む 市長へ直接 or 委員会の設置 見直し規定を設ける</p>	<p>市民同士の意見交流 ↓ 三者が必ず関わる仕組み 市民・行政・議会 —このWSの様に PTA 保護者・自治会リーダー 人の掘り起しができる条文 三者が関わることのできる条例 にする 市民・行政・議会 パブリックコメントには反問権 がない</p>
4班	<p>・どこかが一貫して判断することが条件 ・第三者的に効果を測る必要 ・議会で測るのか？ ・効果は想像つかない →効果は測らなくていいのか？ (松下先生の話より)</p>	<p>・一部の市民しか知らない状況は問題だが、できあがったものを見ていないので考えるのが難しい ◎まず、ワークショップですら関心がなくなってきた ・市政に関心がない ・時間が長くて関心がもち続けられない 【解決策】 まず、市長、市民、議会、職員 情報の共有はできるのでは</p>	<p>今は議論できない</p>	

班	条例の実効性を確保し、高めるための着眼点			
	①条例の効果を図ること	②市民への周知、浸透	③見直しが必要かどうかの判断	④条例改正への市民の関わり
5班	<p>幸福度のような生活に密接した尺度で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート → 次の年の政策 予算に反映される ・イベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・条例知っているか？ ボールで投票 効果を感じているか ・自分が<u>必要な情報</u>でないと 市民は知ろうとしない <p>生活に密着している } 条例か 直結している } ⇒ 口コミ 世間話になるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>お祭り</u> = 稼ぐ運営資金 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちに関わろう 知恵を出さそう ・参加できなかった人の意見をどう吸いとるか ・スーパーや商店街での周知協力、ポイントゲット ・自治会だけでは周知できない ・中学校の授業で職員・市民講義 	<p>① のイベントにもかかる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>年1回 子どもも参加 できるようなイベント 市民が集まる 駅前キャンペーン</p> </div> <p style="text-align: center;">↑</p> <p>制定時のワークショップや意見を出せる、表明できる場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改正となると大多数が必要と思うか ・パブコメだと意見を集められるか
6班	<ul style="list-style-type: none"> ・実感がある 基本条例の〇〇条に基づいて〇〇の事業がある、実施できる ・一人一人にとって感じる効果がある ・数値で測る 市民全員でアンケート ↓ 住みよい町ですか？etc ↓ 回収率でも分かる ・分かりやすい言葉で作る 誰が見ても理解できる具体的な事項で書く 現実的な内容で 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会への連絡 ・公開説明会をやる 姿勢を見せる ・広報、何のための条例か？ 宣伝する ・実感性があると良い ・成功体験 この条例ができたらかうなる、 こうなった ⇒ 宣伝する ・意識しなくても根付く、なんとなく知っている ⇒ 小学生の時とか知っている（授業で習う） 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に対応する。市民の生活が変わってくる ・良かった時もうまくいかなかった時も ・具体的な効果を考える マーケティングリサーチ <ul style="list-style-type: none"> テマをしぼる 子どもの安心・安全 高齢者の見守り ・誰が判断するのか？ 市長？ 議会？ 市民？ ・公平で客観性のある機関が必要、客観性の担保 	<ul style="list-style-type: none"> ・見直しをして、改正する、くりかえす ・アンケート効果を踏まえて ・公開説明会、WS ・見直しをするということを条例に書き込む。1年ごととか3年ごととか

班	条例の実効性を確保し、高めるための着眼点			
	①条例の効果を図ること	②市民への周知、浸透	③見直しが必要かどうかの判断	④条例改正への市民の関わり
7班		<ul style="list-style-type: none"> ・未来協議会を公的に認めてもらう ・広報を利用する ・SNS 	<ul style="list-style-type: none"> ・財政問題への意見 	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントをどう発展させるか
8班	<ul style="list-style-type: none"> ・人の生き死に、金銭負担あるもの →効果測ること必要 そうでないものは、<u>必ずしも必要とは言えない</u> ex: 海岸条例 →そこにかかるコストも考えないと *①と②は逆、まずは知らないと 	<p>◎ここが大事。ここ特化して</p> <p>待ちの姿勢ではなく 問いかけ、アプローチする姿勢 ↓ 市民側も関心をもつ姿勢 この窓口がしっかりしていれば、①③ ④の判断もできる</p> <p>子ども (大人は子どもの言うこと聞く、関心) →◎学校の授業で取り入れるなどして、 <u>子どもを通じて大人の関心を高める</u></p> <p>↑ 子どもワークショップ 夏休みの自由研究 …市長が関わる仕組み</p> <p>◎具体的な取り組みで伝えていかないと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで力を出していない人の参加を促す仕組み 		

その他の着眼点			
<ul style="list-style-type: none"> ●条例のバリアフリー(分かりやすい見せ方) ・「です」「ます」調の文体 ・分かり易く要素を取り出す ・やさしい文章(子どもでも分かる) ・解説文作成(規制は作らない方向) 	<ul style="list-style-type: none"> ●市職員と市民の接点 ・窓口(カウンター)からの意見の情報収集も大切 	<ul style="list-style-type: none"> ●ずし市民祭りを縮小していいのか 	<ul style="list-style-type: none"> ●逗子の未来へ ・若者、移って入ってくる人が逗子の魅力を感じている